

2023 年度（令和 5 年度）事業方針 及び 計画

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

2023 年度は、2022 年度から開始した新規事業やこよりどうカフェの定着、財政基盤の強化、全国への居場所やウェルカムベビープロジェクトの展開に力を入れていくため、具体的に以下 3 点に注力する。

1 点目に、2022 年度から開始したウェルカムベビープロジェクトの LINE 事業（産前産後の切れ目ない情報提供）、2 店舗目となるこよりどうカフェ（お寺とコラボしたカフェ型居場所）、保育園にお惣菜をお届けする連携事業（働いている子育て世帯へのアウトリーチ事業）等、産前から産後・復帰前から復帰後、といったライフステージの変化があっても孤立しないことを目的に立ち上げた事業の定着に力を入れる。どの事業においても足を運びやすい仕掛け及び「参加の余白」を意識し、創り手と受け手の関係ではなく参加の循環が生まれるよう意識する。

2 点目に、事業売り上げ・ご協賛・ご寄付・事業開拓等様々な方法を通して財政基盤の強化をする。利用者負担だけでなく様々なステークホルダーの方々に事業を支えていただきビジョンに近づくように、体制を整える。

3 点目に、居場所やウェルカムベビープロジェクトが全国に広がるよう、全国の NPO 法人・中間支援団体・企業・自治体等と連携していく。そのために、2023 年度はオープンソースデータの活用、居場所づくり講座、インターン等のプログラムを全国に提案することに力を入れる。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集し、ネット上に毎月 100～200 件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2023 年度の取り組み】2023 年度も、これまで通りチラシを web から閲覧できるように内容を逐次入力することを継続。「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグの削減工夫の 1 つとして、情報公開時の最終チェック担当業務が可能な人材の育成に力を入れていく。そして、正確な情報掲載ができる工夫を継続しつつお互いに連携を図れるようにしていく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫、カテゴリ分けの項目の追加など、ユーザーの声や作業を通して気づいたことをチーム内で共有し、改善点の提案を継続していく。同時に、地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー 1 人 1 人が無理なく継続して関われるようにチーム内で相談や意見交換がしやすい環境やメンバー同士が顔を合わせる機会を設けられることも大切にしていきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：10 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 15,000 名程度
- ・支出額：220,500 円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：【概要】年間約 1 万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1 人の情報コンシェルジュが常駐し、月間 100 件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2023 年度取り組み】2023 年度も気軽に立ち寄り立ち寄れる場所として、区の Twitter や HP、とことこ便りを通じてとことこの周知に努める。今年度は横浜市の子育てサポートシステムの無料クーポンの配布を始め、一時預かりの強化、助成金申請など、新たな制度や仕組みについて知識を得ながら、来所者がその情報をキャッチしやすいよう、分かりやすく、かみ砕き情報を届けられるようにしていく。また、スタッフが月に 1 回地域の現場に出向き、生の声や地域のくちこみ情報にも触れ、とことこの情報スペースにフィードバックしていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 16-17
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：区内外の親子中心に、のべ 10,000 名程度
- ・支出：1,878,285 円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

1. こまちカフェ

- ・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩 7 分のところで「こまちカフェ」という居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや 外出動機の創出、仲間づくりのきっかけづくり、気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「できること」が集まり、コーディネートしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通じた豊かな居場所づくりをしている。

【2023 年度取り組み】引き続き、子育て世代の方や、地域の方の居場所となるよう努める。今年度はより地域のかたの参加する機会をつくるために、イベントの手伝いや、日々の手伝いを参加しやすい仕組みづくりも行う。また、男性の育児参加も増えるであろう今年度は、こまちカフェとして来店してくださるお父さん方にもヒアリングしながら、お父さんが参加できる機会を作ることにも力を入れていきたい。Instagram や、twitter、LINE、動画配信などにもより力を入れ、まだこまちカフェを知らない方へのアプローチも行いたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：18 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 9,000 名程度
- ・支出：13,534,283 円

2. こよりどうカフェ

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」姉妹店として、善了寺境内にオープン。こまちカフェ同様に、子育て中の方々が気軽に利用できるカフェとしての運営をすると共に、お寺の境内であることや敷地内に高齢者の介護施設があること等の立地条件も活かし、多世代が集える場となることを目指す。利用者のみならず運営に関わるボランティアも年齢や障害の有無を問わず様々な方が関われる場として運営。日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）にて、居場所を運営しながら、近隣の保育園と連携しお惣菜を園に届ける取り組みや、障がいの

ある方の就労移行支援事業所との連携も進める。また、お惣菜のテイクアウトにも力を入れ、居場所に足を運び過ごすことが難しい方々との接点を作ることにも取り組む。

【2023 年度取り組み】

○カフェの運営

居場所としてのカフェの運営を安定して行うことを目指しながら、多様な世代の利用に柔軟に対応できるよう、お客様の声を大事にヒントに、スタッフどうしの情報交換や相談ができる体制をリーダー中心に整えていく。ランチやカフェのメニューについても、区内の農家や近隣店舗との連携の上、こよりどうカフェならではのものをスタッフとの話し合いの上取り入れていく。

○テイクアウト事業

お惣菜のお届けやお弁当お惣菜のテイクアウトについても、ランチの営業や取り回しとの両立体制を整え、多くのニーズに応えられるよう、トライアルと体制整備を進める。保育園へのお届け事業については、すでに連携している園に加えて近隣の他の園にも随時ご提案を進めながら、保育園との課題共有や、働きながら子育てしている世帯とつながる機会として取り組んでいく。テイクアウトについても、お惣菜に加えてお弁当やスイーツなど様々なメニューを、子育て世帯のみならず、学生や一人暮らしの高齢者等にも利用いただけるような周知や仕組みも検討する。

○様々な人の関わり・地域連携

お子様連れの方が安心して一息つける場となると共に、子ども達が様々な大人に見守られて育つ機会となるよう、見守りボランティアさんのいる体制を整えていく他、学生～ご年配の方々が関われる機会をもつことにも力を入れる。調理補助や片付け等、カフェの様々な業務において随時ボランティアの見学や体験を受け入れながら、継続して関わりたい方には「こまちパートナー登録説明会」を定期的に開催する。また、近隣の就労移行支援事業所と連携し、障害のある方の「働く」経験の場として、こよりどうカフェでの実習を継続的に実施し、多様な方々と一緒に作る店舗を目指す。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区矢部町
- ・従事者人員：21 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 12,000 名程度
- ・支出：16,808,343 円

3. お菓子部門

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」お菓子工房において、クッキーやケーキなど主に焼き菓子を製造し、店頭・オンラインショップ・外部イベント等にて販売。小麦・乳・卵を使わず、アレルギーのある方もない方も一緒に食べることのできる、「心とからだにやさしいお菓子」を開発する。カフェへの来店動機を作るとともに、カフェに足を運ばない方にも菓子の配送を通じてこまちカフェとつながる機会を創出する。製造工程や作業を分担するほか、イベント販売に参加するなど、ボランティアやインターンの方、地域の方など多くの方が関わることでできる事業として取り組む。

【2023 年度取り組み】

2022 年末に拡充した菓子製造設備を活かし、多くの人が関わりながら手づくりのぬくもりの伝わるお菓子を届けられるよう、製造作業の効率化と製造量の安定化、また販路の拡大を図る。定番の焼き菓子に加え、季節や行事に合わせたお菓子を開発し、顧客のニーズに寄り添う商品の展開を目指す。また、地域の企業や店舗とのコラボ企画やフードロス対策など、お菓子から人とのつながりが生まれたり社会課題に取り組んだりする、新たな可能性も模索したい。贈り物に選べる商品のカタログ作成や、購入しやすいオンラインショップの商品説明、SNS を活用した販促方法の充実など、より多くの方に届くような工夫にも力を

入れていきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：11 名
- ・受益対象者：区内外の一般市民のべ 2,200 名程度
- ・支出：3,825,208 円

4. 参加のデザイン

- ・内容：【概要】「こまちカフェ」「こよりどうカフェ」を中心としたこまちぶらすの活動において様々な関わりがうまれるよう、きっかけ作りを行う。パートナー登録会やパートナーぷらす会、チラシ折りやシール貼りを中心としたもくもくの会、見守りやお菓子作りといった定期的な活動の他、当事者としての意見を聞く会を開催したり、アンケートへの協力を依頼したりと、様々な切り口からの関わりがうまれるように工夫をしている。

【2023 年度取り組み】

2022 年度にオープンしたこよりどうカフェでの関わりが新たに生まれたことや、2 拠点になった強みを活かし、より多くの方のより多様な関わりが生まれるよう、こよりどうカフェでのパートナー登録会や見守りも定期的に行っていく。商店会との連携や、コロナ禍を経て再開となるお祭りやイベント等も、関わりのきっかけとなるよう工夫をしていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：区内外の一般市民のべ 100 名程度
- ・支出：90,336 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 「でこぼこの会」（発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施）

- ・内容：【概要】毎月 1 回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2023 年度取り組み】2022 年度も、お話会と勉強会を交互に開催。勉強会では、公認心理師による「本田秀夫先生の『学校の中の発達障害』の本を使って」「発達にでこぼこのあるお子さんのための算数の勉強会」「先輩ママのお話を聞く会」など、引き続き開催する。父親も参加できる勉強会として、こども家庭支援センターの社会福祉士の方をお招きして、日曜日に勉強会を開催する予定。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 100 名程度
- ・支出：205,221 円

2. ケアラズカフェ「えんがわ」（子育てと介護を同時に抱える家庭や親の介護等について関心がある家庭向けの事業）

- ・内容：【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2023 年度取り組み】 2023 年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にする」ことを目指して活動する。こまちカフェでの開催のみならず、単発の企画としてこよりどうカフェでの開催やオンラインも取り入れながら、ダブルケアの方が必要な情報に出会い、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れ開催する。また、講演会の実施や SNS の活用により、広くダブルケアについての情報発信をする機会も設けることや、2021 年度に作成した当事者の声を可視化したツール（葉っぱ）を活用してのワークショップ等も実施していく。また、複数人のチームで実施していけるよう、体制を新しく整えていく。

- ・日時：通年 月 1 回実施
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：1 名
- ・受益対象者： 子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ 40 名程度
- ・支出：114,136 円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」（不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業）

- ・内容：【概要】月 1 回金曜日又は土曜日に、不登校ひきこもり児童・生徒（学齢期）の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2023 年度取り組み】 2023 年度も引き続きお互いの気持ちを共有したり、情報を得ることで、自信と元気を取り戻していただける場を提供する。また SNS 発信や「街のとまり木」の活動を通じて家から出られない親子の外出機会をつくる。ポンテという区内のネットワークの会にも月一回参加し、地域との連携を深めながら実施する。

- ・日時：4 月 28 日、5 月 26 日、6 月 24 日、7 月 28 日、8 月 25 日、9 月 30 日、10 月 27 日、11 月 24 日、12 月 23 日、1 月 26 日、2 月 24 日、3 月 22 日(10:00～12:00)
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2 名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ 100 名程度
- ・支出：68,528 円

4. 「ただい間のおうち」（不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている学齢期児童の家族向け事業）

- ・内容：【概要】月 1 回金曜日の夜に、不登校・ひきこもり・生きづらさを感じている児童・生徒（学齢期）の親子が外に出て家族以外の第 3 者と交流できる場を提供。

【2023 年度取り組み】 子どもが外に出る第一歩として安心して過ごせる場所を提供する。この場所で自信を取り戻し、次の一步に進めるよう子どもたちの気持ちや行動に寄り添うことができる場とする。地域の関係機関や、地域の方々、不登校経験者の方、など様々な方に関わっていただけるよう連携を深めながら実施する。

- ・日時：4 月 21 日、5 月 19 日、6 月 16 日、7 月 21 日、8 月 18 日、9 月 15 日、10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日、1 月 19 日、2 月 16 日、3 月 15 日(17:30～19:00)
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：不登校の児童の親、支援者等のべ 150 名程度
- ・支出：144,492 円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・内容:【概要】こまちカフェ・こよりどうカフェにて、レンタルスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援、人と人との交流の場の提供を実施。

【2023 年度取り組み】昨年度末から、こよりどうカフェでもレンタルスペースの貸出を開始したため、今年度はこまちカフェ・こよりどうカフェのレンタルスペースの貸出を継続して行う。こまちカフェでは、子育て中の母親を中心にイベントをしていることもあり午前中のレンタルスペースが多く活用されている。そのため今年度は、より幅広い年代の方が参加できるイベントを午後のレンタルスペースで企画検討し、午前午後ともに沢山の方が利用できるレンタルスペースを目指す。また、イベントスペースは、動画配信の場としての活用もしていきたい。毎月発行しているイベントカレンダーチラシは、こまちカフェに足を運んだことのない方にも手に取って頂けるような紙面づくりを心がけ、幅広い年代の方に情報が届くよう配架場所・掲載方法を工夫していきたい。こよりどうカフェでは、まだ定期利用の契約者がいないため、今年度は定期利用契約を増やし年間 40 件のイベント開催を目指したい。こまちカフェのイベントカレンダーチラシと同様に、こよりどうカフェでも毎月チラシを発行し、こよりどうカフェでのレンタルスペースの情報発信をしていきたい。レンタルスペース契約者には、昨年度開催した契約者同士の交流会を引き続き実施、情報の共有をしながら更なる横のつながりを大切にし、共同企画などができるように支援していきたい。また、レンタルスペースが利用しやすいように契約者とレンタルスペース担当者で随時意見交換を行い、要望があればできる限り改善できるように努めたい。

2023 年度は、Instagram を活用し主催者との連携や、告知集客の支援をしていき、それに伴いこまちカフェの Instagram のアカウント自体も育ち、価値を高め、カフェの利用者を増やすことをしていきたい。レンタルスペースでイベントを開催することで、幅広い年代の方が両カフェを訪れるきっかけを作り、様々な交流ができるようにしていきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5 名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ 2400 名程度（オンライン参加者を除く）
- ・支出：1,270,739 円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容:【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった手づくり雑貨を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0 か 1 ではない働き方（自宅にいながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。

【2023 年度取り組み】引き続き、年間を通してこまちカフェでの手づくり雑貨展示販売を行い、近隣の方のみならず、遠方の方・家庭やご自身の事情で外出が難しい方にとっても、特技が活かせる場となるよう努める。昨年度期間限定で行ったこよりどうカフェでの作品販売と「テーマ」を持たせた交流の機会を、今年度は継続して行えるよう整えていく。多様な人が足を運ぶきっかけとなるような「テーマ」を持たせ、手づくり雑貨と掛け合わせて、展示即売会を開催する。手づくり作家同士の交流会や外部出店なども引き続き行い、活気ある事業としていきたい。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ 1,500 名程度

・支出：871,823 円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容：【概要】「まち全体で赤ちゃんの誕生をお祝いし子育てを応援する社会」を目指し、出産祝いを地域の人々や企業商店とつくり、届ける事業を実施。2016年にヤマト運輸株式会社神奈川主管支店との協働で立ち上げ、2018年から横浜市鶴見区、2020年から千葉県松戸市、2022年から茅ヶ崎市でも活動。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いの内容は選考会にて4人の選考委員により認定されたものが入っており、申し込みがある世帯へ無料で配布している。このプロジェクトの資金はすべて民間財源（協賛金や寄付、自主事業収入）でまかなわれており、行政と連携し実施している。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関わりと連携により新たな社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。

【2023年度取り組み】

[戸塚支部]

○出産祝い部門

出産祝いを一緒に作ってくださるパートナー企業の皆様の交流の機会に力を入れ、「ウェルカムベビーなまち」に向けて、更なる取り組みが生まれることも目指す。受け取られる方々へは、妊娠中の方への周知については、産前部門のLINEやイベント実施との連動に力を入れる。また、出産祝いを受け取られた方の声を丁寧に拾う機会を対面、SNS、アンケート等様々な方法で取り入れ、パートナー各社とも共有をしながら出産祝いのお届けを継続する。

○産前部門

2022年度より開始した「とつかウェルカムベビーLINE」への妊娠中の方の登録促進を検討、実施する。近隣の産院へ広報等の協力の相談をする他、情報交換の機会に力を入れることで産院や妊産婦の生の声を知ることを通して現状を調査し、妊娠中の方のニーズがあるイベントや講座の企画の実施につなげていく。

○産後部門

産後の母親が気軽に足を運びゆるやかにつながれる機会として、こまちカフェでのおしゃべり会「ゆるっとママカフェ」を月2回開催する他、当プロジェクトのパートナー（協賛）企業と連携し、外出の機会や子育てに必要な情報を得る機会となるようなイベントも開催する。

○タウンポーター/ナッピーデー

赤ちゃん連れでまちに出かけやすい場所が増えていくよう、引き続き登録店舗とのコミュニケーションをとりながら認知度の向上に力を入れる。その一環として、これまで集めていた登録料を廃止し、プロジェクトの趣旨に賛同し、毎月7日のナッピーデーに赤ちゃん連れを歓迎するイベントの開催や、寄付ボックスの設置をしてくださる店舗を募る。

[本部]

○支部展開

引き続き、鶴見支部、松戸支部、茅ヶ崎支部への伴走と支部間の交流や情報交換に力を入れながら、新たな支部の立ち上げに向けて、関心のありそうな団体や自治体への提案を進めていく。また、各支部の活動が財政的にも継続可能なものとなるよう、地域で支えられる仕組みづくりについても検討する。

○パートナー企業・団体との協働

2022年度に引き続き、プロジェクトを応援いただくご協賛のみならず、様々な形で多様な業種の方々にとって「ウェルカムベビーなまち」を目指すことが身近になるよう連携を進めていく。

・日時：通年

- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：6 名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区・松戸市・茅ヶ崎市で生まれた赤ちゃんのご家庭の方、のべ 2000 名程度
- ・支出：4,788,674 円

2. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：【概要】約 90 名の会員がいる戸塚の商店会の事務局をつとめる。「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぷらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について考え提案をしていく。
【2023 年度の取り組み】今年度はイベントや清掃活動を通して、会員同士をはじめ地域にお住まいの方や会員のお客様との交流を図っていく。具体的には、地域住民や学生、会員のお客様とともに商店会イベントを盛り上げる、「地域サポーター制度（仮）」をつくる。こまちカフェに足を運ぶ方や、こまちパートナーとともにまちの中での参加の機会を作っていく。また、他の商店会との連携やホームページ、インスタグラムや YouTube など SNS にて情報発信と手渡しできるマップの再編成も行う。また、こまちぷらす内での他事業との連携しながら子育て中の親子がまちを知り、お店につながる機会やイベント参加の機会を持つていく。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：90 名
- ・支出：942,824 円

VI. 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

1. 講演やコラム発信等、起業への働きかけを実施

- ・内容：【概要】講演や研修、調査協力、機関誌寄稿等を通した提言啓発を実施。
【2023 年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぷらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。2022 年度に引き続き、「カフェ型居場所の展開」として、他地域や他団体に向けたこまちカフェの運営についての実務講座を実施。さらに、2022 年度に取り組んだ「心地よい関わりのある居場所をまちに増やす」ための提言を元に、居場所を作りたい事業者当事者のみならず、その事業者を支える中間支援団体や関心のある民間企業への働きかけも行い、日本中に「心地よい関わりのある居場所」が増えていくよう努める。
- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：6 名
- ・受益対象者：300 名
- ・支出：1,495,345 円